

(株)ベネッセコーポレーション
学校ICT事業開発部
Classiマーケティング課 兼
Classi(株) マーケティング部
エリアマネージャー

石川 翔一

秋田県立
能代高等学校
進路指導主事

吉田 英亮 先生

Focus **2**

教育改革の
先を見据えて

秋田県立能代高校 Classiの導入

“主体的に学ぶ力”を育む、 学校教育の新たなカタチへ

“地域の進学校”を目指す学校のこれから

教育改革の一環として、2020年度の大学入試から国語における記述式や英語の4技能(聞く・読む・話す・書く)検定の受験が必要となる大学が増え、これまで以上に“学んだ知識を定着させ、アウトプットする力”が重視されるようになります。こうした新時代の教育が求められるなかでICTを活かした教育プラットフォーム「Classi」を導入する学校が増えています。秋田県の進学校である秋田県立能代高校も、そうした学校の一つでした。

「以前から、私たちは生徒に主体的に考えさせ、対話の中で学んでいく『探究活動』を取り入れてきました。それらに役立つ機能が入っていることが魅力でした」と、同校の進路指導主事である吉田英亮先生はClassiを採用した理由を話します。

Classiを使って「つながる・振り返る・高め合う」

「探究活動」とは、自ら課題を発見し、その課題を解決するためのプロセスを体験しながら学んでいく力を育むもので、2022年度から

は高等学校学習指導要領の中で「探究」という名がつく科目が新設されます。能代高校は、2017年に秋田県から「探究活動等実践モデル校事業」に指定されたのを機に、一足先に「地域課題解決型の探究活動」などを進めてきました。

「Classiを導入してから、探究活動で重視している『つながる』『振り返る』『高め合う』ことが円滑になりました」(吉田先生)

秋田県立能代高校でのClassi活用

「ポートフォリオ」活用による
自己管理向上と指導の多様化

総合評価

Classi

「校内グループ」を活用した
グループ学習と他校との連携

外部連携

「アンケート」を活用した
生徒同士の相互評価と情報共有

対話促進

「つながる」に役立っているのはClassiのコミュニケーション機能です。校内でのグループ学習はもちろん、他校との協働学習を可能にし、生徒の学びをより深めることができています。また、「振り返る」には、ポートフォリオ機能を活用しています。Classiは、生徒たちがスマートフォンなどから、探究活動の成果や自身の気づきなどを気軽に入力・蓄積することができるほか、どのようなことを学んできたのかという振り返りも容易になります。また、先生もそのデータをもとに適切な面談・指導や評価が可能になります。そして「高め合う」には、上記に加えて、アンケートや投票ボックス機能を使っています。アンケートを活用した生徒同士の相互評価や情報共有のほか、ほかの生徒が発表した内容に関する感想を書き込むなどの対話を促しています。

こうした機能を活用して、同校では探究活動以外の授業の学習記録や連絡用掲示板としてもClassiを使い始めています。



学習記録と振り返りをスマートフォンで



グループワークでの気づきや学びを記録



先生は、生徒が記録したものを随時確認することが可能



その場でのアンケート集計で講義の質を向上

子どもたちの“学びの輪”を広げるために

Classiは、先生に寄りそい、改革が進む教育現場の課題解決をお手伝いしながら進化してきたICTツールです。これまでベネッセが提供してきた進研模試やスタディーサポートといったアセスメントとの連携によって、生徒の個別情報をより網羅的に蓄積でき、学習指導や進路指導をサポートするツールとなっています。

また、今後は、より協働的な学びを実現していくために、学校間の連携を容易にする新機能の搭載も検討しています。これが実現すれば地域間の教育格差や情報格差の是正にもつながります。

子どもたちの可能性を引き出し、新しい学びの場を提供するために、これからも教育プラットフォームを進化させていきます。



本プロジェクトについてわかりやすく動画とHTML記事で紹介しています
<https://www.benesse-hd.co.jp/ja/ir/library/ar/2019/focus/classi.html>



VOICE

紙の時と比べると、
生徒の記録・意見記入の量が断然多い！
今の世代に合っていると感じる。

先生 Aさん

他の人の意見や感想がすぐに共有できるので、
相互対話によるより深い学びにつながっている。

先生 Bさん

学年末などに学習記録を見返して、
自分の成長を見える化できるのが良いです。

高校3年生 Cさん

大学や他校とのやりとりが簡単にでき、
いろんな物の見方や考え方が得られ視野が広がる。

高校2年生 Dさん

ICTで学校を支援し、 日本の教育を変えたい

Classi(株) 取締役
 (株)ベネッセコーポレーション
 デジタル事業開発本部 本部長

井上 寿士



Classi(株)は、「子どもの無限の可能性を解放し、学びの形を進化させる」ことをミッションとしています。今後の社会で必要になる力を学校という場を通じてしっかりと学んでもらえるように、学校教育の新たなカタチの支援に積極的に取り組んでいます。

組んでいます。

例えば、能代高校の取り組みに代表されるように、「Classi」のグループ機能を活用することで、地域の方や外部のプロフェッショナルとやり取りしたり、県外の学校同士が協働学習したりするなど、学校を越えた開かれた学びも生まれつつあります。

他の仲間からのフィードバックをもらう、学校を越え新たな気づきや学びを深める。ICTを活用することにより実現する学びや、「Classi」だからこそできる、子どもの可能性を引き出す学びを、今後も増やしていきたいと考えています。